

科目名	学ぶこと・教えること						
科目名(英)	Learning/Teaching						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	樋口 裕介		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	大学にて准教授として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	学習者(被教育者)の主体的な学習活動や自律的な生活が可能になるような指導(授業)の計画、実施、評価について理論的に理解するとともに、実践的課題について考える。(DP3)						
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				教育の目的とその意義について説明できる。	
	○	○				学習支援方法の概要を説明できる。	
	○	○				学習支援方法の実際について説明できる。	
	○	○	○	○		学習支援方法を活用した実践の振り返りができる。	
○	○				自己の教育観を述べるができる。		
テキスト・教材 参考図書	テキストなし 講師配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	「教育方法」について考えるということ				テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み	
	2	学びと生活				指定課題への取り組み	
	3	教育課程・授業の編成原理・編成方法				指定課題への取り組み	
	4	子どもを生活主体にする学び				指定課題への取り組み	
	5	授業における学習形態				指定課題への取り組み	
	6	授業の構想と指導案づくり(1)				指定課題への取り組み	
	7	居場所づくりの実践的課題—学級崩壊の事例検討を通して—				指定課題への取り組み	
	8	子どもの生活を指導することと居場所づくり				指定課題への取り組み	
	9	管理することと指導すること—ゼロトレランスの事例検討を通して—				指定課題への取り組み	
	10	授業の構想と指導案づくり(2)				指定課題への取り組み	
	11	教育評価の目的と機能				指定課題への取り組み	
	12	教育評価の方法と実践的課題				指定課題への取り組み	
	13	授業の構想と指導案づくり(3)				指定課題への取り組み	
	14	授業の構想と指導案づくり(4)				指定課題への取り組み	
15	まとめと振り返り				指定課題への取り組み		
評価方法	・出席状況(30)・指導案(30)・テスト(40)をもとに総合的に評価する。 ・60%以上を合格とし、59%以下は再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				80%
	授業態度				◎		20%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	English for Nursing						
科目名(英)	English for Nursing						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	Fhamida		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	学校にて英語教師として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	国際社会に対応しうる基礎的な語学力を身につけるために、日常的な英会話を学ぶとともに臨床場面において英語で患者と意思疎通を図るための基本的な英語表現と臨床場面における英会話を活用する力を身につける。(DP1・3・4)						
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				診療科、体の部位、病名、医療器具の名称などの英語表現(記述・発音)ができる。	
	○	○	○	○		医療現場における英語表現(記述・発音)での基礎的なコミュニケーションが実施できる	
	○	○		○		臨床場面における英会話の習得に積極的に取り組むことができる。	
テキスト・教材 参考図書	『Medical English Booklet』『Challenge Book4』『メディカル下敷き』						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	臨床場面における単語の理解(身体部位・職種・診療科名等)			テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み		
	2	臨床場面における単語の理解(疾患・症状等)			指定課題への取り組み		
	3・4	臨床場面における英会話(入院場面に応じた英会話)			指定課題への取り組み		
	5・6	臨床場面における英会話(外来場面に応じた英会話)			指定課題への取り組み		
	7・8	臨床場面における英会話(病室場面に応じた英会話)			指定課題への取り組み		
	9・10	臨床場面における英会話(検査室場面に応じた英会話)			指定課題への取り組み		
	11・12	臨床場面における英会話(問診場面に応じた英会話)			指定課題への取り組み		
	13・14・15	臨床場面における英会話の実践(演習)			指定課題への取り組み		
評価方法	・60%以上を合格とし、59%以下は再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				80%
	授業態度				◎		20%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	健康とレクリエーション							
科目名(英)	Physiology of Health and Recreation							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	町田 弘幸			
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	大学にて講師として勤務			
対象学科・学年	看護科・2年							
授業概要	レクリエーションを通して心身の健康の維持・向上を図ることを看護の実践に活かすために体験的・創造的に学ぶ。(DP1・2・3・4)							
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○	○				レクリエーションの概要について説明できる。(レクリエーションの種類・方法・効果)		
	○	○				地域で行われているレクリエーション活動の実際について、説明することができる。		
	○	○				地域で行われているレクリエーション活動が、地域の生活者に与える健康(身体的・精神的・社会的・文化的)への効果について述べるができる。		
	○	○				レクリエーション活動と地域社会におけるコミュニティとの関連性について、述べるができる。		
	○	○	○	○		対象や場面別での、レクリエーション活動について、企画・実践・評価を実施することができる。		
○	○				レクリエーション活動の、自身の看護実践への活用場面・活用方法について述べるができる。			
テキスト・教材 参考図書	テキストなし 講師配布資料							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	レクリエーションの概要・目的(種類・方法・効果)				テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み		
	2	地域で行われているレクリエーション活動の実際について:グループ学習① 対象に応じたレクリエーション				指定課題への取り組み		
	3	地域で行われているレクリエーション活動の実際について:グループ発表①				指定課題への取り組み		
	4	対象別レクリエーション活動の企画:グループ学習				指定課題への取り組み		
	5	対象別レクリエーション活動の実践:グループ発表・プレゼンテーション・擬似活動				指定課題への取り組み		
	6	対象別レクリエーション活動の実践評価・改善活動:グループ学習・グループ発表				指定課題への取り組み		
	7	レクリエーションの自身の看護実践への活用について				指定課題への取り組み		
	8	レクリエーション活動の評価				指定課題への取り組み		
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
15								
評価方法	・60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	筆記試験	◎	◎				50%	
授業態度				◎		50%		
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。							

科目名	病態と治療 V						
科目名(英)	Pathophysiology and Therapeutics V						
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	岡松 由記		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて医師として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	精神障害を持つ患者および家族に適切な看護援助を行うために、基礎的知識となる精神疾患および治療・検査を理解する。また、小児期における先天異常に加えて、成長・発達に対応した病態を理解する。(DP3)						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				主要な精神障害およびその要因、治療・検査を理解できる。	
	○	○				小児の成長発達過程における基本的な生理を理解し、小児期における疾患の特徴と診断・治療について理解する。	
テキスト・教材 参考図書	奈良間 美保ら:『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論』, 医学書院 吉松 和哉ら:『精神看護学Ⅱ 精神保健学』, ヌーヴェルヒロカワ 講師配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	精神疾患の概念、精神機能、診断(ICD-10・ICD-11・DSM-5)				テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み	
	2	精神疾患の特徴と治療:器質性精神障害、行動障害、神経症性障害、気分(感情)障害				指定課題への取り組み	
	3	精神疾患の特徴と治療:統合失調症、妄想性障害				指定課題への取り組み	
	4	精神疾患の特徴と治療:ストレス障害、パーソナリティ障害、知的障害、心理的発達障害				指定課題への取り組み	
	5	精神療法、電気けいれん療法				指定課題への取り組み	
	6	小児期の疾患:外科				指定課題への取り組み	
	7	小児期の疾患:先天異常、悪性新生物、神経疾患				指定課題への取り組み	
	8	小児期の疾患:代謝性疾患、内分泌疾患、腎疾患				指定課題への取り組み	
	9	小児期の疾患:免疫疾患・アレルギー疾患、感染症、呼吸器疾患				指定課題への取り組み	
	10	小児期の疾患:循環器疾患・消化器疾患、他				指定課題への取り組み	
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	・60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。①40点②10点③50点						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				80%
	授業態度				◎		20%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	臨床検査								
科目名(英)	Clinical Laboratory Examination and Diagnosis								
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	安藤 廣美				
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて医師として勤務				
対象学科・学年	看護科・2年								
授業概要	臨床検査とは何か、どのような臨床検査法があるのか、健康状態あるいは病気・治療状態を把握する方法を学び、生活する人・治療する人への看護に活かすための基礎知識を身につける。(DP3・4)								
授業形態	講義:	○	演習:		実習:		実技:		※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標			
	○	○				臨床検査とその役割について説明できる。			
	○	○				臨床検査の流れと看護師の役割について説明できる。			
	○	○				検体検査:一般検査の種類・検体採取方法・検査方法について説明できる。			
	○	○				検体検査:血液学的検査の種類・検体採取方法・検査方法について説明できる。			
	○	○				検体検査:化学検査、免疫・血清学的検査、内分泌学的検査の種類・検査方法について説明できる。			
	○	○				検体検査:微生物学的検査、病理学的検査の種類・検体採取方法・検査方法について説明できる。			
	○	○				生体検査:生理機能検査、画像検査、内視鏡検査の種類・検査方法について説明できる。			
テキスト・教材 参考図書	系統看護学講座 臨床検査. 医学書院								
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示		
	1	臨床検査とその役割・種類・目的・評価 臨床検査の流れと看護師の役割					テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み		
	2	検体検査:一般検査の種類・検体採取方法・検査方法・評価(尿検査、便検査、消化液検査)					指定課題への取り組み		
	3	検体検査:一般検査の種類・検体採取方法・検査方法・評価(腹水・胸水など体腔内貯留液検査、髄液検査、関節液検査)					指定課題への取り組み		
	4	検体検査:血液学的検査の種類・検体採取方法・検査方法・評価(血沈、血球検査、出血・凝固検査、貧血検査、骨髄検査)					指定課題への取り組み		
	5	検体検査:化学検査の種類・検体採取方法、検査方法・評価方法					指定課題への取り組み		
	6	検体検査:免疫・血清学的検査の種類・検体採取方法・検査方法・評価(炎症マーカー、免疫・抗体、アレルギー、腫瘍マーカー、輸血に関する検査)					指定課題への取り組み		
	7	検体検査:内分泌学的検査の種類・検体採取方法・検査方法・評価(各種ホルモンの検査、感染症の診断と検査、各種病原体と検査)					指定課題への取り組み		
	8	検体検査:病理学的検査の種類・検体採取方法・検査方法・評価(細胞診、病理組織検査、剖検検査)					指定課題への取り組み		
	9	生体検査:生理機能検査の種類・検査方法・評価(循環・呼吸・神経機能の検査)、内視鏡検査の種類・検査方法・評価					指定課題への取り組み		
	10	生体検査:画像検査の種類・検査方法・評価(放射線とは、画像診断、レントゲン検査、CT検査、造影検査、超音波検査、MRI検査、造影検査)					指定課題への取り組み		
	11								
	12								
	13								
評価方法	・60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	筆記試験	◎	◎				80%		
	授業態度				◎		20%		
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。								

科目名	看護と法						
科目名(英)	Nursing and Law						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	増満 誠		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	大学にて講師として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	看護専門職者として、医療に関する法律(特に保助看法)の理解が必要である。法律が制定された歴史的・社会的背景とそれぞれの目的を理解する。そこで看護師が法律で守られていることを理解し、看護師を目指すものとして何が必要かを考え、看護師の高い倫理観を持って学び続ける姿勢を育む。(DP2)						
授業形態	講義	○	演習:	△	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				保健師助産師看護師法に関する基礎知識について理解する。	
	○	○				対象者の安全を保障するための看護師の義務と責任を理解する。	
テキスト・教材 参考図書	平林 勝政ら:『健康支援と社会保障④ 看護をめぐる法と制度』, ナーシング・グラフィカ 講師配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	チーム医療と法				テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み	
	2	保健師助産師看護師法～制定の背景、目的				指定課題への取り組み	
	3	保健師助産師看護師法～免許、業務、義務				指定課題への取り組み	
	4	保健師助産師看護師法～試験、特定行為研修制度				指定課題への取り組み	
	5	法制度をとりまく考え方: インフォームドコンセント				指定課題への取り組み	
	6	法制度をとりまく考え方: 看護過誤(医療過誤)				指定課題への取り組み	
	7	法と生命倫理				指定課題への取り組み	
	8	まとめ				指定課題への取り組み	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	・60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				80%
	授業態度				◎		20%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	暮らしの中の社会福祉						
科目名(英)	Social Welfare						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	工藤 歩		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	大学にて講師として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	社会福祉の概念と基本的な制度の理解や、法律に基づく生活者の生活問題に対する社会福祉の実践と課題について学ぶ。(DP1・2・4)						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				社会福祉の概念や目的をふまえ、生活との関わりが理解できる	
	○	○				社会保障・社会福祉の動向を知る。	
	○	○				社会保障の種類とその内容を理解することができる。	
	○	○				社会福祉の分野とサービスについて理解できる。	
	○	○				社会福祉実践と医療・看護との連携について理解できる。	
テキスト・教材 参考図書	福田 素生:『健康支援と社会保障制度[3] 社会保障・社会福祉』, 医学書院 講師配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	社会保障制度と社会福祉			テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み		
	2	現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向			指定課題への取り組み		
	3	医療保障～健康保険と国民健康保険			指定課題への取り組み		
	4	医療保障～高齢者医療制度、保険診療のしくみ			指定課題への取り組み		
	5	介護保障			指定課題への取り組み		
	6	所得保障			指定課題への取り組み		
	7	公的扶助～貧困・低所得問題と公的扶助制度、生活保護制度のしくみ			指定課題への取り組み		
	8	公的扶助～低所得者対策、近年の動向			指定課題への取り組み		
	9	社会福祉の分野とサービス～高齢者福祉			指定課題への取り組み		
	10	社会福祉の分野とサービス～障がい者福祉			指定課題への取り組み		
	11	社会福祉の分野とサービス～児童家庭福祉			指定課題への取り組み		
	12	社会福祉実践と医療・看護～社会福祉援助技術			指定課題への取り組み		
	13	社会福祉実践と医療・看護～社会福祉援助の検討課題			指定課題への取り組み		
	14	社会福祉実践と医療・看護～連携の重要性、方法			指定課題への取り組み		
	15	社会保障制度と社会福祉まとめ			指定課題への取り組み		
評価方法	・60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				80%
	授業態度				◎		20%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	診療の補助技術 I						
科目名(英)	Paramedical Technique I						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	松藤 沙弥香		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	生活を整える技術である排泄の中で、清潔・無菌操作の技術の必要な導尿技術を身につける。医療・療養環境を整える技術として感染予防対策を身につける。(DP3)						
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○	○			感染予防対策の基本的技術を実施できる。	
	○	○	○	○		排泄障害のある対象者の援助について説明できる。	
	○	○	○	○		排泄障害のある対象者への援助技術を実施できる。	
テキスト・教材 参考図書	『ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② 基礎看護技術 I』メディカ出版 『ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 II』メディカ出版						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	標準予防策の基礎知識:方法、種類				テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み	
	2	標準予防策の方法(必要な防護用具(滅菌手袋・ゴーグル・ガウン等)の選択・着脱)				指定課題への取り組み	
	3	洗浄・消毒・滅菌の基礎知識				指定課題への取り組み	
	4	無菌操作の基礎知識				指定課題への取り組み	
	5・6	無菌操作の実際(滅菌バックの取り扱い・清潔区域の作成・撮子の取り扱い・ガーゼの取り扱い)・創処置(創洗浄・創保護・包帯法)				指定課題への取り組み	
	7	使用した器具の感染防止の取り扱い(感染性廃棄物の取り扱い・医療器材の取り扱い(洗浄・消毒・滅菌))				指定課題への取り組み	
	8	中央滅菌材料室見学(施設見学)				指定課題への取り組み	
	9	一時的導尿の技術の基礎知識:方法・留意点・根拠				指定課題への取り組み	
	10	一時導尿の技術:方法・留意点・根拠				指定課題への取り組み	
	11・12	一時的導尿の技術				指定課題への取り組み	
	13・14	膀胱留置カテーテルの挿入とその管理				指定課題への取り組み	
	15	まとめ				指定課題への取り組み	
	環境	・実技試験80%以上を合格とし、これを満たさなければ筆記試験に臨むことができない。 ・筆記試験60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。(感染・排泄)					
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
筆記試験		◎	◎				70%
授業態度			◎	◎	◎		30%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	診療の補助技術Ⅱ						
科目名(英)	Paramedical TechniqueⅡ						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	松本 好美		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	対象に応じた薬物療法や輸血を適切に行うために、薬物の人体への影響、薬剤や輸血の目的などの知識及び、患者の観察といった与薬に関する基礎的知識・技術を学ぶ。 また、血液検査における目的方法を理解し、検体の取り扱い方法や、患者が安全に検査が受けられるために必要な看護を学ぶ。(DP3)						
授業形態	講義：△	演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		検査の目的とそれを受ける対象への援助の方法について説明できる。	
	○	○				与薬における法的根拠、知識・技術・態度、薬剤の種類などについて説明できる。	
	○	○	○			さまざまな与薬方法(注射法を含む)の基礎的技術を実施できる。	
	○	○	○			輸血の基本的知識とその方法・管理について説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	『ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ』メディカ出版 『ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ』メディカ出版						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	与薬とは、与薬における法的根拠、与薬のための基礎知識			テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み		
	2	内用薬・外用薬の与薬方法(経口、吸入、点眼、点鼻、経皮、直腸内、作用機序)			指定課題への取り組み		
	3	与薬・輸血・検体検査に共通する基礎知識(確実・安全な投与方法。指示受け～6R+A～実施)			指定課題への取り組み		
	4	与薬の方法(経口・口腔内投与・吸入・点鼻・経皮・座薬)：グループ演習			指定課題への取り組み		
	5	注射の基礎知識(注射方法、注射の共通技術①)			指定課題への取り組み		
	6	注射の基礎知識(注射器の取扱い、注射の共通技術②)			指定課題への取り組み		
	7	与薬方法(皮下・筋肉・静脈内・点滴注射)：グループ学習			指定課題への取り組み		
	8	学内演習：与薬方法(皮下・筋肉・静脈内・点滴注射)：グループ演習			指定課題への取り組み		
	9	学内演習：皮下・筋肉・静脈内・点滴注射：シミュレーション 練習			指定課題への取り組み		
	10	学内演習：皮下・筋肉・静脈内・点滴注射：シミュレーション 実践			指定課題への取り組み		
	11	学内演習：輸液方法(輸液ポンプ、シリンジポンプ、三方活栓)			指定課題への取り組み		
	12	輸血の基礎知識(目的、方法、輸血の管理)			指定課題への取り組み		
	13	学内演習：輸血の方法(目的、方法、輸血の管理) 実践			指定課題への取り組み		
	14	検体検査における看護師の役割			指定課題への取り組み		
15	検体検査の方法(グループワーク)			指定課題への取り組み			
評価方法	・実技試験80%以上を合格とし、これを満たさなければ筆記試験に臨むことができない。 ・筆記試験60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				70%
授業態度		◎	◎	◎			30%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	診療の補助技術Ⅲ						
科目名(英)	Paramedical Technique Ⅲ						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	松藤 沙弥香		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	人間が生活するうえで欠かせない食事、呼吸に対する援助技術の中で、侵襲を伴う技術を身につける科目。人体の構造と機能や病態などの既習知識をもとに、安全・安楽な技術提供ができるよう、その基礎知識や方法を学ぶ。(DP1・2・3・4)						
授業形態	講義： △	演習： ○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				経管栄養法の種類、方法を説明することができる。	
	○	○	○	○		経管栄養法をモデル人形で経験することができる。	
	○	○				呼吸を整える援助技術の種類を説明することができる。	
	○	○	○	○		呼吸を整える援助技術をモデル人形で経験することができる。	
テキスト・教材 参考図書	『ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ』メディカ出版 『ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ』メディカ出版						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	経管栄養法の基礎知識				テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み	
	2	経管栄養法・胃瘻・中心静脈栄養の管理(方法、留意点)				指定課題への取り組み	
	3	経鼻管栄養法の実際(演習)				指定課題への取り組み	
	4	経管栄養法の実際(演習)				指定課題への取り組み	
	5	呼吸を整える援助技術とは				指定課題への取り組み	
	6	酸素療法とは(HOTも含む)				指定課題への取り組み	
	7	酸素療法の実際(演習)				指定課題への取り組み	
	8	排痰ケアとは				指定課題への取り組み	
	9	排痰ケアの実際(演習)				指定課題への取り組み	
	10	胸腔ドレナージとは				指定課題への取り組み	
	11	胸腔ドレナージの実際(演習)				指定課題への取り組み	
	12	吸入とは				指定課題への取り組み	
	13	吸入の実際(演習)				指定課題への取り組み	
	14	人工呼吸療法とは(TPPV、NPPV)				指定課題への取り組み	
	15	人工呼吸療法の実際(演習)				指定課題への取り組み	
評価方法	・実技試験80%以上を合格とし、これを満たさなければ筆記試験に臨むことができない。 ・筆記試験60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				70%
	授業態度		◎	◎	◎		30%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は、科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	地域・在宅看護技術						
科目名(英)	Technique of Nursing for Community/Home Health Care						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	角屋 佳代		
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	演習など実践を意識した授業の中で、地域・在宅における看護援助の方法や実践プロセスを身につけるための基礎知識を学ぶ。(DP2・3・4)						
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○	○	○		事例を通して在宅療養者の看護過程を展開できる	
	○	○	○	○		様々な事例から、療養者と家族や、その環境と状況に応じた必要な看護を説明できる	
	○	○	○	○		様々な事例における訪問看護の実演の中で、看護計画の実施ができる	
	○	○	○	○		演習など実践を通して、看護援助の方法や実践プロセスをリフレクションすることができる	
テキスト・教材 参考図書	『系統看護学講座 地域・在宅看護論[1]地域・在宅看護の基盤』, 医学書院 『系統看護学講座 地域・在宅看護論[2]地域・在宅看護論の実践』, 医学書院						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	様々な事例の地域・在宅看護過程(演習) グループ学習			テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み		
	2	様々な事例の地域・在宅看護過程(演習) 対象理解・関連図			指定課題への取り組み		
	3	様々な事例の地域・在宅看護過程(演習) アセスメント			指定課題への取り組み		
	4	様々な事例の地域・在宅看護過程(演習) 看護課題の明確化			指定課題への取り組み		
	5	様々な事例の地域・在宅看護過程(演習) 強み・連携を活かした看護計画			指定課題への取り組み		
	6	様々な事例の地域・在宅看護過程(演習) 訪問時のマナー 基礎知識			指定課題への取り組み		
	7	様々な事例の地域・在宅看護過程(演習) 訪問看護計画・行動計画			指定課題への取り組み		
	8	様々な事例の地域・在宅看護過程(演習) 訪問看護 実演			指定課題への取り組み		
	9	様々な事例の地域・在宅看護過程(演習) 自宅での生活援助方法の実演			指定課題への取り組み		
	10	様々な事例の地域・在宅看護過程(演習) 自宅での生活援助のリフレクション			指定課題への取り組み		
	11	様々な事例の地域・在宅看護過程(演習) 医療ケア方法の実演			指定課題への取り組み		
	12	様々な事例の地域・在宅看護過程(演習) 医療ケア方法のリフレクション			指定課題への取り組み		
	13	様々な事例の地域・在宅看護過程(演習) ケアマネジメント			指定課題への取り組み		
	14	様々な事例の地域・在宅看護過程(演習) 学びの共有・リフレクション			指定課題への取り組み		
15	まとめ			指定課題への取り組み			
評価方法	・実技試験80%以上を合格とし、これを満たさなければ筆記試験に臨むことができない。 ・筆記試験60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				70%
	授業態度				◎		30%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	成人看護学援助論 I						
科目名(英)	Overview of Assistance and Support Method for Adults I						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	木本 佳菜美		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	成人の健康を維持・増進するための援助について学ぶ。 また、急激な健康破綻により生命の危機に陥った場合において、病態の緊急度・重症度を機軸として、少ない情報から患者の状態を判断し状態変化に即応した看護援助の基礎を学ぶ。 (DP1・3・4)						
授業形態	講義： ○	演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				生活習慣・不適切なライフスタイル・ストレスなどによって、成人期に生じやすい健康問題と予防策について説明できる。	
	○	○				健康危機状況における対象や、療養の場の特徴が理解し、救急看護の役割を説明できる。	
	○	○				健康危機的状況の対象の身体・心理・社会的特徴について説明できる。	
	○	○				健康危機的状況における成人期に対する、看護援助について説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	安酸 史子ら：『ナーシング・グラフィカ 成人看護学② 健康危機状況/セルフケア再獲得』, 株式会社メディカ出版						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	成人期に生じやすい健康問題				テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み	
	2	成人期に生じやすい健康問題に対する予防策 GW				指定課題への取り組み	
	3	成人期に生じやすい健康問題に対する予防策 GW				指定課題への取り組み	
	4	成人期に生じやすい健康問題に対する予防策 GW共有				指定課題への取り組み	
	5	ヘルスプロモーションを促進する看護の場と活動				指定課題への取り組み	
	6	救急看護の概念				指定課題への取り組み	
	7	救急看護の対象の理解:対象者と家族の特徴				指定課題への取り組み	
	8	救急看護の対象の理解:救急患者の観察とアセスメントと看護技術				指定課題への取り組み	
	9	主要病態に対する救急処置と看護				指定課題への取り組み	
	10	危機的状況への精神的援助				指定課題への取り組み	
	11	集中治療室における看護				指定課題への取り組み	
	12	脳神経疾患のある人の看護:クモ膜下出血				指定課題への取り組み	
	13	循環器疾患のある人の看護:心筋梗塞				指定課題への取り組み	
	14	循環器疾患のある人の看護:急性大動脈解離				指定課題への取り組み	
	15	救急搬送患者の看護:急性薬物中毒				指定課題への取り組み	
評価方法	・60%以上を合格とし、59%以下は再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				80%
	授業態度				◎		20%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	成人看護学援助論Ⅱ						
科目名(英)	Overview of Assistance and Support Method for Adults Ⅱ						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	木本 佳菜美		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	成人の慢性疾患は、患者・家族への精神的・経済的負担も多く、限られた社会保障や社会制度の中で、社会の一員として生活しなければならないことから、その状況の中で、自己の疾患を受け入れ、コントロールすることでその人らしい生活や社会生活を営んでいくことを学ぶ。 成人において、外傷や疾病により新たに生じた障害とともに生きていくことは容易ではなく、それまで行っていたことができなくなるため、その人が再び「その人らしく生きていく」ための看護支援を学ぶ。(DP1・3)						
授業形態	講義： ○	演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				慢性期にある人の身体・心理・社会的特徴と看護の役割を説明できる。	
	○	○				回復期にある人の身体・心理・社会的特徴と看護の役割を説明できる。	
	○	○				疾患の特徴を理解し、援助および患者・家族指導の重要性を説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	安酸 史子ら：『ナーシング・グラフィカ 成人看護学③ セルフマネジメント』、株式会社メディカ出版 安酸 史子ら：『ナーシング・グラフィカ 成人看護学② 健康危機状況/セルフケア再獲得』、株式会社メディカ出版 看護診断のためのよくわかる中範囲理論(NANDA-1 2021-2023)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	慢性期にある人の身体・心理・社会的特徴				テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み	
	2	慢性期にある人と家族への看護				指定課題への取り組み	
	3	セルフマネジメント支援とは				指定課題への取り組み	
	4	慢性の代謝性疾患障害を持つ人の看護：糖尿病				指定課題への取り組み	
	5	慢性の呼吸器疾患障害を持つ人の看護：慢性閉塞性肺疾患				指定課題への取り組み	
	6	慢性の消化器疾患障害を持つ人の看護：肝硬変				指定課題への取り組み	
	7	慢性の消化器疾患障害を持つ人の看護：潰瘍性大腸炎・クローン病				指定課題への取り組み	
	8	慢性の循環器疾患障害を持つ人の看護：心不全				指定課題への取り組み	
	9	慢性の腎疾患障害を持つ人の看護：腎不全				指定課題への取り組み	
	10	回復期にある人の身体・心理・社会的特徴				指定課題への取り組み	
	11	回復期にある人と家族への看護				指定課題への取り組み	
	12	回復期の運動器疾患障害を持つ人の看護：脊髄損傷				指定課題への取り組み	
	13	回復期の脳疾患障害を持つ人の看護：脳梗塞				指定課題への取り組み	
	14	回復期の膠原病疾患障害を持つ人の看護：関節リウマチ				指定課題への取り組み	
15	回復期の感覚器疾患障害を持つ人の看護：メニエール病・網膜剥離				指定課題への取り組み		
評価方法	・60%以上を合格とし、59%以下は再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				80%
	授業態度				◎		20%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	成人看護技術						
科目名(英)	Technique of Adult Nursing						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	松ノ木 幸恵		
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	健康障害を持つ成人に関する様々な情報を整理し、情報の解釈・分析・統合により看護問題を導き、成人期の対象と看護の理解を深める。その中では特に、生活習慣がもたらす影響を理解できるよう、リスクファクターの視点、患者教育に着眼し、看護展開を行う。 また、成人看護学で活用される技術の演習を実施することにより、看護実践の基礎能力を身につける。(DP1・2・3・4)						
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				成人看護学における看護過程を展開し、対象の抱える問題について説明することができる。	
	○	○	○	○		患者教育の必要性・方法を理解し、個性のある実践を行うことができる。	
	○	○	○	○		成人の持つ力を支える援助を実践することができる。	
テキスト・教材 参考図書	安酸 史子ら:『ナーシング・グラフィカ 成人看護学③ セルフマネジメント』, 株式会社メディカ出版 安酸 史子ら:『ナーシング・グラフィカ 成人看護学② 健康危機状況/セルフケア再獲得』, 株式会社メディカ出版 看護診断のためのよくわかる中範囲理論(NANDA-1 2021-2023) 成人看護学の講義資料、その他成人看護や病に関する資料、配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	慢性期の健康障害を持つ人の看護過程の展開:糖尿病 GW				テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み	
	2	慢性期の健康障害を持つ人の看護過程の展開:糖尿病 GW				指定課題への取り組み	
	3	慢性期の健康障害を持つ人の看護過程の展開:糖尿病 GW				指定課題への取り組み	
	4	慢性期の健康障害を持つ人の看護過程の展開:糖尿病 GW				指定課題への取り組み	
	5	慢性期の健康障害を持つ人の看護過程の展開:糖尿病 GW				指定課題への取り組み	
	6	紙上事例患者の患者教育指導案作成				指定課題への取り組み	
	7	紙上事例患者の患者教育指導案作成				指定課題への取り組み	
	8	紙上事例患者の患者教育指導案 実践				指定課題への取り組み	
	9	紙上事例患者の患者教育指導案 実践のリフレクション				指定課題への取り組み	
	10	インスリン注射、自己血糖測定の演習				指定課題への取り組み	
	11	インスリン注射、自己血糖測定の演習のリフレクション				指定課題への取り組み	
	12	救急時の応援要請・一次救命処置・止血法・AED 演習				指定課題への取り組み	
	13	救急時の応援要請・一次救命処置・止血法・AED 演習のリフレクション				指定課題への取り組み	
	14	心電図装着 演習・リフレクション				指定課題への取り組み	
15	成人看護技術 まとめ				指定課題への取り組み		
評価方法	・60%以上を合格とし、59%以下は再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				70%
授業態度				◎		30%	
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	老年看護学援助論						
科目名(英)	Overview of Assistance and Support Method for Elderly						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	河村 佳緒理		
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	高齢者は、高齢者の身体的・精神的・社会的特徴から「生活機能」の障害が生じやすい。生活機能の障害は、高齢者の「生活行動」に影響してくる。高齢者ゆえの生活行動の特徴や、それに対する援助(アセスメント看護)について学ぶ。また、高齢者ゆえの身体的特徴(加齢変化)から健康を逸脱することも多いため、その特徴的な症状・疾病・障害などをもつ高齢者の回復を支える看護を学ぶ。(DP1・2・3)						
授業形態	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				高齢者の健康状態(加齢に伴う機能の変化)と生活の変化について説明できる。	
	○	○				さまざまな健康状態に応じた高齢者の看護について説明できる。	
	○	○				高齢者に特有な疾患・障害と看護について説明できる。	
	○	○				生活する高齢者の健康を支える看護について説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	北川 公子:『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学』, 医学書院						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	高齢者の生活(食事、摂食嚥下障害、低栄養)を支える看護				テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み(1時間)	
	2	高齢者の生活(排泄、尿失禁、便秘・下痢)を支える看護				指定課題への取り組み(1時間)	
	3	高齢者の生活(清潔、高齢者に多い皮膚障害)を支える看護				指定課題への取り組み(1時間)	
	4	高齢者の生活(活動、転倒の防止と影響、歩行・移動)を支える看護				指定課題への取り組み(1時間)	
	5	高齢者の生活(睡眠、休息、睡眠障害)を支える看護				指定課題への取り組み(1時間)	
	6	高齢者の生活(性、セクシュアリティ)を支える看護				指定課題への取り組み(1時間)	
	7	高齢者に特有な廃用症候群の看護				指定課題への取り組み(1時間)	
	8	高齢者に特有な脱水症の看護				指定課題への取り組み(1時間)	
	9	高齢者に特有なコミュニケーションと看護ケア(視覚障害・聴覚障害・言語障害)				指定課題への取り組み(1時間)	
	10	高齢者に特有な骨粗鬆症・骨折の看護				指定課題への取り組み(1時間)	
	11	高齢者に特有なうつ病の看護				指定課題への取り組み(1時間)	
	12	高齢者に特有なせん妄の看護				指定課題への取り組み(1時間)	
	13	高齢者に特有な認知症の看護(認知症とは、認知症の種類・症状・治療・予防・評価方法)				指定課題への取り組み(1時間)	
	14	高齢者に特有な認知症の看護(アセスメント・ケア/急性期病床での援助)				指定課題への取り組み(1時間)	
	15	認知症高齢者への効果的なアプローチ				指定課題への取り組み(1時間)	
評価方法	・60点以上を合格とし、59点以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	筆記試験	◎	◎			評価割合	
	授業態度				◎	80%	
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	小児看護学概論						
科目名(英)	Overview of Pediatric Nursing						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	小金丸 翔子		
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	子どもと家族を取り巻く環境を多角的に捉えるために、看護の変遷や目的から人口統計的な知識、小児に関わる法律、小児看護が担う役割を学ぶ。また、子どもを権利を有する一人の人として尊重する心を養うと共に、子どもの成長発達を促すための基礎知識を身につける。(DP1・2・3)						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				子どもと家族をより広い視点からとらえて、小児看護の果たす役割を説明することができる。	
	○	○				小児看護の対象はすべての健康レベルの子どもであることを説明することができる。	
	○	○				小児の成長発達、小児各期の発達の特徴を説明することができる。	
	○	○				小児看護の基本となる考え方(変遷、倫理、小児に関する理論・法律など)を説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	奈良間美保:『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論』, 医学書院 講師配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	小児看護の変遷と目的・役割			テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み		
	2	子どもの権利と看護			指定課題への取り組み		
	3	子どもと家族を取り巻く環境			指定課題への取り組み		
	4	小児看護で用いられる理論			指定課題への取り組み		
	5	小児の発達(発達論)			指定課題への取り組み		
	6	小児の発達(評価方法)			指定課題への取り組み		
	7	小児の成長発達: 新生児期			指定課題への取り組み		
	8	小児の成長発達: 乳児期			指定課題への取り組み		
	9	小児の成長発達: 幼児期			指定課題への取り組み		
	10	小児の成長発達: 学童期			指定課題への取り組み		
	11	小児の成長発達: 思春期			指定課題への取り組み		
	12	小児の成長発達のまとめ: 遊びの計画			指定課題への取り組み		
	13	子どもと家族を取り巻く社会①			指定課題への取り組み		
	14	子どもと家族を取り巻く社会②			指定課題への取り組み		
15	まとめ			指定課題への取り組み			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 筆記試験にて評価を行う。 60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。 						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				80%
	授業態度				◎		20%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	精神看護学概論					
科目名(英)	Overview of Psychiatric and Mental Health Nursing					
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	江崎 功	
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務	
対象学科・学年	看護科・2年					
授業概要	人間の心の仕組みや働き・発達から心の健康を考え、様々な場での精神保健の問題や活動を学ぶ。その上で精神科看護における患者-看護師関係や理論モデルについて学習することで、精神看護援助の基盤となる人間関係についての学びを深め、また精神保健医療福祉の歴史、現代の動向学び、今後の課題を考える機会とする。(DP1・2・3)					
授業形態	講義:	○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				精神看護の概念と目的を理解し、精神科看護の役割や基本となる考え方を説明できる。
	○	○				人間の精神の健康発達及び現代社会における精神保健の問題と看護の役割を説明できる。
	○	○				精神疾患を持ちながら地域(様々な生活の場)で生活する患者環境を説明することができる。
	○	○				精神保健医療福祉の変遷や現状について学び、求められる看護について説明することができる。
○	○				患者-看護師関係や理論モデルについて学び、精神看護援助の基盤となる人間関係について説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	吉松 和哉ら:『精神看護学Ⅰ 精神保健学 第6版』, ヌーヴェルヒロカワ 川野 雅資:『精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学 第6版』, ヌーヴェルヒロカワ					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	精神看護学とは 精神(心)の健康と不健康				テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み
	2	主な精神の機能とその障害				指定課題への取り組み
	3	危機状況と看護 ストレスとストレスコーピング				指定課題への取り組み
	4	危機状況と看護 危機理論と危機介入 ライフサイクルと危機				指定課題への取り組み
	5	精神保健と社会 家族・家庭と精神保健				指定課題への取り組み
	6	精神保健と社会 学校と精神保健 職場と精神保健				指定課題への取り組み
	7	精神保健と社会 地域精神保健活動に関わる資源(職種・機関)				指定課題への取り組み
	8	自然災害に伴う被災地域の精神保健/災害と精神保健医療活動				指定課題への取り組み
	9	リエゾン精神看護				指定課題への取り組み
	10	精神医療の歴史・法制度				指定課題への取り組み
	11	精神科看護の目的と対象/精神科看護師の役割				指定課題への取り組み
	12	ストレングス、リカバリ、エンパワメント、レジリエンス				指定課題への取り組み
	13	ペプロウ/オレム・アンダーウッド				指定課題への取り組み
	14	プロセスレコード				指定課題への取り組み
15	まとめ				指定課題への取り組み	
評価方法	講義内容を筆記試験(100%)にて評価を行う。筆記試験 60%以上を合格とし、59%以下は再試験対象となる。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	筆記試験	◎	◎			
授業態度				◎		
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。					

科目名	臨床判断の基礎						
科目名(英)	Basics of Clinical Judgement Technique						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	柁澤 芳江		
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	対象者に看護が届くその時に、看護師がどのようなことに気づき、解釈し、看護を実施し、それを改善し、以前よりさらに患者を深く理解した看護を行っているのかを学ぶ。看護師が知識や技術、経験をどのように構造化し看護実践につなげているのか、臨床判断の基礎となる思考・行動を身につける。(DP2・3・4・5)						
授業形態	講義： ○	演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				臨床判断を身につけるための基礎知識を述べるができる。	
	○	○				事例において「気づき」を述べるができる。	
	○	○				リフレクションにより、患者の反応パターンや看護パターンを述べるができる。	
	○	○				既習知識を統合し看護実践に活用するプロセスを経験することができる。	
○	○				その人らしい生活や人生をサポートするためのナラティブな思考を身につけることができる。		
テキスト・教材 参考図書	テキストなし(各領域のテキストを使用) 講師配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	臨床判断とは～看護師に臨床判断能力が求められる背景～			配布資料の事前通読		
	2	タナーの臨床判断モデル			配布資料の事前通読		
	3	思考発話とは			配布資料の事前通読		
	4	「気づく」			配布資料の事前通読		
	5	臨床判断モデルにおけるリフレクション			配布資料の事前通読		
	6	コンセプト学習～チャンク化とスキーマ帰納～			配布資料の事前通読		
	7	患者を深く知る事			配布資料の事前通読		
	8	臨床判断のトレーニング～周術期～			配布資料の事前通読		
	9	臨床判断のトレーニング～認知症～			配布資料の事前通読		
	10	臨床判断のトレーニング～小児～			配布資料の事前通読		
	11	臨床判断のトレーニング～母性～			配布資料の事前通読		
	12	臨床判断のトレーニング～精神～			配布資料の事前通読		
	13	臨床判断のトレーニング～健康維持・増進期～			配布資料の事前通読		
	14	臨床判断のトレーニング～症状別～			配布資料の事前通読		
15	臨床判断のまとめ			配布資料の事前通読			
評価方法	・60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				70%
	授業態度				◎		30%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	家族看護論						
科目名(英)	Family Nursing						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	村方 多鶴子		
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	病院等にて看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	家族看護における理論を活用した家族アセスメントと各領域における看護の実際に必要な基礎知識を身につける。(DP1・2・3・4・5)						
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				家族看護の目的について説明できる。	
	○	○				家族とは何か、家族の定義や機能について説明できる。	
	○	○				家族看護における理論の活用について説明できる。	
	○	○				家族看護過程のプロセスを説明できる。	
	○	○				領域別事例において家族看護の実際を述べることができる。	
テキスト・教材 参考図書	○系統看護学講座 家族看護学 医学書院 『家族看護学 理論と実践』, 日本看護協会出版会 講師配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	家族看護とは～家族看護の特徴と理念、実践の場面、家族とは～			テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み		
	2	家族看護の対象理解～家族の構造・機能(レジリエンス)～			指定課題への取り組み		
	3	家族看護の対象理解～現代の家族とその課題～			指定課題への取り組み		
	4	家族看護を支える理論と介入法			指定課題への取り組み		
	5	家族看護展開の方法～家族看護過程の実践			指定課題への取り組み		
	6	家族看護展開の方法～家族アセスメント			指定課題への取り組み		
	7	家族看護展開の方法～家族看護計画立案			指定課題への取り組み		
	8	家族看護展開の方法～家族看護実施			指定課題への取り組み		
	9	様々な家族看護アセスメントモデル			指定課題への取り組み		
	10	出産前後の家族への看護			指定課題への取り組み		
	11	医療的ケア児を持つ家族への看護			指定課題への取り組み		
	12	救急医療・集中治療の場における家族への看護			指定課題への取り組み		
	13	精神疾患をもつ患者の家族への看護			指定課題への取り組み		
	14	介護を行っている家族への看護			指定課題への取り組み		
15	家族看護のまとめ			指定課題への取り組み			
評価方法	・60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				70%
	授業態度				◎		30%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	薬物療法と看護					
科目名(英)	Pharmacotherapy and Nursing					
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	江崎 功	
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務	
対象学科・学年	看護科・2年					
授業概要	医療現場や在宅で行われる薬物療法に関する一般的な看護について学ぶ。また、薬物療法を受ける対象者の特徴を捉えた上で、多様な成長発達段階にある対象者各期への看護の視点を学ぶ。(DP3・4・5)					
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				薬物療法に関する基本的な看護について理解し、説明することができる。
	○	○	○	○		成長発達段階各期の特徴を踏まえた、服薬自己管理に関する支援方法について説明できる。
	○	○	○	○		成長発達段階各期の特徴を踏まえた、服薬支援と与薬の方法について説明・実施できる。
	○	○	○	○		メディケーションエラー時への対応法について説明・実施できる。
○	○		○		薬物療法中の対象者への看護師の役割について、自己の考えを述べる事ができる。	
テキスト・教材 参考図書	吉岡 充弘ら:『系統別看護学講座 専門基礎分野Ⅲ 疾病のなりたちと回復の促進[3]薬理学 第4版』, 医学書院					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	薬物療法の体内動態と相互作用、ハイリスク患者・薬物の剤型とその特徴に応じた看護			テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み	
	2	薬物療法に伴う心理・精神面への影響・服薬行動への支援			指定課題への取り組み	
	3	抗がん剤使用中の患者の看護・免疫抑制剤使用中の患者の看護			指定課題への取り組み	
	4	薬物療法による日常生活機能への影響・社会復帰に向けた自己管理・長期的薬物療法の継続にむけた支援			指定課題への取り組み	
	5	薬物療法を受ける成人期患者の看護			指定課題への取り組み	
	6	薬物療法を受ける在宅療養者の看護			指定課題への取り組み	
	7	身体的発達を踏まえた薬物動態や効果・副反応に対する看護・知的・精神的発達段階を踏まえた薬物療法における小児とその家族への支援			指定課題への取り組み	
	8	薬物療法を受ける小児への内服、吸入、座薬、点滴、服薬指導			指定課題への取り組み	
	9	薬物療法を受ける妊娠期・授乳期患者の看護			指定課題への取り組み	
	10	精神科領域の代表的な薬物療法を受ける患者の看護			指定課題への取り組み	
	11	薬物療法を受ける精神疾患患者の薬剤管理、服薬行動に向けた支援			指定課題への取り組み	
	12	薬物治療を受ける高齢者の看護			指定課題への取り組み	
	13	薬物療法を受ける高齢者の服薬行動に向けた支援、嚥下機能状態による服薬方法の検討と服薬支援			指定課題への取り組み	
	14	メディケーションエラーへの対応			指定課題への取り組み	
15	まとめ			指定課題への取り組み		
環境	・60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	筆記試験	◎	◎			
	授業態度	○	◎		◎	
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。					

科目名	健康支援の看護						
科目名(英)	Nursing for Health Support						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	小金丸 翔子		
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	自分自身の健康づくりとともに、家族や職場、地域での総合的な健康支援について学ぶ。(DP3・4)						
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技: △	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				社会の保健活動について説明できる。	
	○	○				保健指導の基礎理論について説明できる。	
	○	○				発達段階における保健指導の特徴を述べることができる。	
			○	○		保健指導の経験及びリフレクションができる。	
テキスト・教材 参考図書	神馬 征峰:『系統看護学講座<<系統看護学講座 専門基礎分野>>健康支援と社会保障制度[2] 公衆衛生』, 医学書院						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	社会の変化と保健にかかわる意義				テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み	
	2	教育・指導とは何か				指定課題への取り組み	
	3	保健指導の基礎理論:自己効力理論				指定課題への取り組み	
	4	保健指導の基礎理論:変化のステージモデル				指定課題への取り組み	
	5	保健指導の基礎理論:ヘルスピリブモデル				指定課題への取り組み	
	6	保健指導の方法:集団指導と個別指導口				指定課題への取り組み	
	7	ライフステージ各期の健康課題と健康を守る法律・施策				指定課題への取り組み	
	8	企業の保健指導の実態見学				指定課題への取り組み	
	9	女性のライフステージ各期の健康課題				指定課題への取り組み	
	10	乳幼児の発達課題と健康課題と母子保健施策・学童期の保健課題と管理(学校保健)				指定課題への取り組み	
	11	成人期の発達課題と健康課題・働く人の健康課題と管理(産業保健)口				指定課題への取り組み	
	12	高齢者の発達課題と健康課題・高齢者の健康と生活を守る施策口				指定課題への取り組み	
	13	感染症予防と施策・障がい者・難病保健と施策口				指定課題への取り組み	
	14	保健指導のシナリオ作成				指定課題への取り組み	
15	保健指導の実施・リフレクション				指定課題への取り組み		
評価方法	・60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				80%
	授業態度				◎		20%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	周術期の看護						
科目名(英)	Perioperative Nursing						
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	木本 佳菜美		
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	周術期にある対象の特性を理解し、回復過程が円滑に進むための看護の役割および援助を学習する。また、急性期にある対象および家族への看護の基礎となる主要概念や理論を学習する。(DP2・3)						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				生命危機状態にある対象の看護を理解するために、基礎となる主要概念や理論を踏まえ、身体的特徴や治療の概要、回復過程の看護が説明できる。	
	○	○				周術期にある対象の身体的特徴を述べることができる。	
	○	○				手術療法と起こりうる合併症およびその予防と対処方法を説明できる。	
	○	○				回復過程にある対象の生活の援助を説明できる。	
	○	○				対象および家族の精神的苦痛に対する援助方法についての関心を高めることができる。	
テキスト・教材 参考図書	中島 恵美子編:『ナーシング・グラフィカ 成人看護学④ 周術期看護』, 株式会社メディカ出版						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	周術期に関連する基礎知			テキスト、資料の事前通読及び指定課題への取り組み		
	2	外科的侵襲から回復期の生体反応			指定課題への取り組み		
	3	術前の看護(外来看護も含む)			指定課題への取り組み		
	4	術中の看護			指定課題への取り組み		
	5	術後合併症予防と発症時の援助			指定課題への取り組み		
	6	術後の継続看護			指定課題への取り組み		
	7	日帰り手術時の看護			指定課題への取り組み		
	8	成人期の特徴			指定課題への取り組み		
	9	老年期の特徴			指定課題への取り組み		
	10	小児の特徴			指定課題への取り組み		
	11	母性の特徴			指定課題への取り組み		
	12	術前の看護:外来見学			指定課題への取り組み		
	13	プレパレーション			指定課題への取り組み		
	14	プレパレーション実施			指定課題への取り組み		
	15	まとめ			指定課題への取り組み		
評価方法	・60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				80%
	授業態度				◎		20%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	エンドオブライフケア						
科目名(英)	Terminal Care						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	角 美緒		
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	現代社会では、病むことや死と向き合うことを余儀なくされることに苦悩し、これからの人生をどう生きるかについて思い悩む人に寄り添い、歩いていくことができる看護師が求められている。当科目では病気の種類、病期、年齢、療養場所を問わない横断的な終末期看護を学ぶとともに、死生観や倫理的思考を養う。(DP1・2・3・4・5・6)						
授業形態	講義:	○	演習:	△	実習:		
				実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				終末期、エンドオブライフケアの基礎知識を説明できる。	
	○	○				人生の最終段階における対象者の権利と意思決定支援について説明できる。	
	○	○				各発達段階におけるエンドオブライフケアの特徴を述べることができる。	
	○	○		○		緩和ケアの目的や疼痛コントロールについて説明できる。	
	○	○		○		各発達段階におけるエンドオブライフケアの特徴を述べることができる。	
	○	○		○		看取りの看護について述べるができる。	
テキスト・教材 参考図書	テキストなし(各専門領域で使用している教材を使用) 講師配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	終末期とは(言葉の意味:終末期、ターミナル期、ホスピスケア、緩和ケア)				配布資料の事前通読	
	2	エンドオブライフケアとは(意味、構成要素)				配布資料の事前通読	
	3	人生の最終段階における意思決定(ガイドライン、人生会議)				配布資料の事前通読	
	4	人生の最終段階における意思決定(アドバンスディレティブ、リビングウィル、アドバンスケアプランニング、DNRなど)				配布資料の事前通読	
	5	人生の最終段階にある対象者の理解(老年期における特徴)				配布資料の事前通読	
	6	人生の最終段階にある対象者の理解(成人期における特徴)				配布資料の事前通読	
	7	人生の最終段階にある対象者の理解(小児期における特徴)				配布資料の事前通読	
	8	トータルペインとは(身体的・精神的・社会的苦痛、スピリチュアルペイン、村田理論、アセスメントなど)				配布資料の事前通読	
	9	疼痛アセスメント(疼痛の評価、疼痛の要因)				配布資料の事前通読	
	10	緩和ケア(緩和ケアの目的、疼痛コントロールとケア)				配布資料の事前通読	
	11	死の受容(死のとらえ方)				配布資料の事前通読	
	12	臨終時の看護(身体変化、臨死期の対応、家族の心理)				配布資料の事前通読	
	13	看取りの看護(家族ケア、グリーフケア、在宅における看取り)				配布資料の事前通読	
	14	看取りの看護(在宅における看取り)				配布資料の事前通読	
15	死亡時の看護(死後の処置、エンゼルケア・メイク、デスカンファレンス)				配布資料の事前通読		
評価方法	・60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	筆記試験	◎	◎				
	授業態度				◎		
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	ヘルスプロモーション実習						
科目名(英)	Practice in Health Promotion						
単位数	2単位	時間数	90時間	担当者	角 美緒		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	地域で暮らす人々が自ら健康をコントロール管理し、地域で継続して生活を営んでいくための活動・支援の実際を学ぶ。(DP1・2・3・4・5・6)						
授業形態	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				地域で暮らす人々が自ら健康をコントロール管理するための取り組みについて理解する。	
	○	○				地域で暮らす人々の健康維持増進に向けた、地域における支援・連携の実際を理解する。	
	○	○				地域で暮らす人々の自ら健康をコントロール管理する取り組みを支える看護の役割と機能を理解できる。	
テキスト・教材 参考図書	地域・在宅看護論の講義資料、その他 配布資料						
授業計画	週	授業項目・内容			授業外学修指示		
	3 週 間	地域で暮らす人々の健康維持増進への取り組み・活動の実際			実習要項の事前通読及び、指定課題への取り組み		
		地域で暮らす人々の健康維持増進とその人が営む生活との関連・影響			指定課題への取り組み		
		地域で暮らす人々の健康維持増進のための支援・地域看護活動			指定課題への取り組み		
		地域で暮らす人々の健康維持増進のための多職種連携・社会資源			指定課題への取り組み		
		地域で暮らす人々の健康維持増進を支える看護の役割と機能			指定課題への取り組み		
		学びのまとめ			指定課題への取り組み		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・評価者: 指導教員と臨床指導者。 ・評価基準: 5段階評価【認知・情意】(70%)【態度】(30%)、100%を満点とし、60点以上を合格点とする。 ・評価方法: 記録用紙、発問・発言、行動観察法とする。 						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	評価割合
	レポート・発言・言動	◎	◎	◎			70%
	態度				◎		30%
履修上の注意	・出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	成人・老年看護学実習 I						
科目名(英)	Practice in Adult and Gerontological Nursing I						
単位数	2単位	時間数	90時間	担当者	臨床指導者 河村佳緒理		
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・2年						
授業概要	成人・老年期にある生活機能の維持・回復をめざす人とその家族を理解し、健康課題に取り組み自律して生活していくことを支えるための看護の実際を学ぶ。(DP1・2・3・4・5・6) 病院実習74時間、他病院地域包括ケア病棟16時間。						
授業形態	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				生活機能の維持・回復をめざす人とその家族を理解することができる。	
	○	○	○	○		生活機能の維持回復をめざす人とその家族への、健康課題に取り組み自律して生活していくことを支える看護を理解できる。	
	○	○				生活機能の維持回復をめざす人とその家族への、健康課題に取り組み自律して生活していくことを支えるための多職種連携を理解できる。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	週	授業項目・内容				授業外学修指示	
	3 週 間	生活機能の維持回復をめざす人の身体的状態とセルフケア能力を捉え、必要な看護を理解する				実習要項の事前通読及び、指定課題への取り組み	
		生活機能の維持・回復をめざす人とその家族の心理的・社会的特徴を捉え、必要な看護を理解する				指定課題への取り組み	
		生活機能の維持回復をめざす人を取り巻く生活環境とその影響について理解する				指定課題への取り組み	
		生活機能の維持回復をめざす人とその家族に必要な看護を実施する				指定課題への取り組み	
		生活機能の維持回復をめざす人とその家族を支える多職種連携の必要性を理解する				指定課題への取り組み	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・評価者:指導教員と臨床指導者。 ・評価基準:5段階評価【認知・情意】(70%)【態度】(30%)、100%を満点とし、60点以上を合格点とする。 ・評価方法:記録用紙、発問・発言、行動観察法とする。 						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	評価割合
	レポート・発言・言動	◎	◎	◎			70%
	態度				◎		30%
履修上の注意	・出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						